

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	Risk Factors for Completion of Standard Treatment for Pancreatic ductal adenocarcinoma in the elderly patients
	研究目的	高齢者は各臓器の生理的機能低下や栄養状態低下などにより、比較的手術リスクが高くなるとされている。高齢化社会が進展する一方で、周術期管理や合併症治療の進歩により手術治療の安全性は向上してきており、高齢患者に対する手術適応は拡大傾向にある。膵体尾部癌に対しては術前・術後化学療法および膵体尾部切除を含めた集学的治療が標準的であるが、治療完遂率に関する検討は少ない。今回我々は高齢者に対する膵癌集学的治療完遂率の検討を行う。
	研究対象者	2013年から2019年までに当院で膵癌と診断され、膵体尾部切除術を施行した患者。
	研究期間	西暦 2021 年 5 月 17 日 ~ 西暦 2021 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	当センター	上岡祐人
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし